

資料6

前回運営協議会等における御意見・御要望
を踏まえた対応状況

平成30年6月22日
内閣府沖縄振興局

前回運営協議会（平成29年9月15日）での意見・要望

- 民業圧迫の報告が営業現場から出ている。民業補完という観点から沖縄公庫と民間金融機関との対話する機会を設けてみてはどうか。



①沖縄公庫と民間金融機関による連絡窓口の設置（平成29年10月6日）



②沖縄公庫と民間金融機関の意見交換会の開催

第1回 平成29年11月8日

第2回 平成30年5月21日

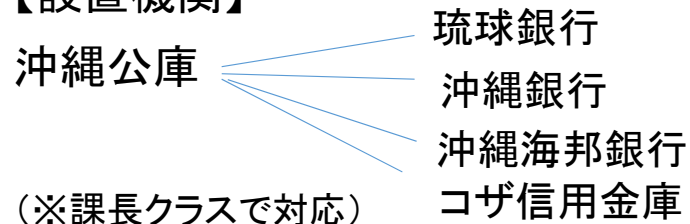
沖縄公庫運営協議会における民業補完等の意見を受けた対応スキーム

①連絡窓口の設置

【位置づけ】

沖縄公庫と民間金融機関の実務者レベルの意見交換、事務調整を円滑に行うため設置

【設置機関】



【内容】

- ・実務(現場)レベルで意見交換等を行うことにより連携・協調を一層促進する
- ・民業圧迫と疑われる案件が生じた場合は、適宜、照会、確認、意見交換を行う
- ・協調・連携案件の調整等も行う

②民間金融機関との意見交換会

【位置づけ】

沖縄公庫と民間金融機関との意見交換をスムーズにするため、沖縄振興局と沖縄総合事務局の共催により開催

【参加者】

金融機関: 沖縄公庫、地銀、第二地銀、信金、農協、漁協(※部長クラスで対応)

【主な議題】

- ・日本公庫と民間金融機関との連携事例
- ・沖縄公庫の融資方針
- ・民業補完や連携に関する具体的要望
- ・民業補完に関する沖縄公庫の取組み

沖縄公庫と民間金融機関との意見交換会の主な意見

<第1回 平成29年11月8日>

- ここ2～3年営業店から公庫に対する不満が増加している印象。民間が関係性を築いてきた顧客に対して公庫が営業をかけるのはいかがなものか。
- 債務者区分が正常先にランクアップしたところで公庫に肩代わりされた例がある。
- 金利は企業の信用力を示すと考えるが、公庫の個社に対する金利も最近は疑問に感じることがある。
- 制度に基づき融資しているので仕方ない面もあるが、民業圧迫になるような融資はやめてほしい。
- 小口融資について母子父子家庭支援はいいことだと思うが、他の小口まで積極的なのはどうか。
- 公庫は大型設備投資に特化すべき。

<第2回 平成30年5月21日>

- 連絡窓口の設置は評価したい。
- 連携窓口の成果として、事業承継を通じた協調融資案件ができた。
- 協調融資の案件が出てきた際は、好事例として共有いただきたい。
- 公庫と民間金融機関では融資条件が異なるため、協調融資にあたっては担保条件や金利水準も工夫してほしい。
- 協調融資商品の融資割合については、案件ごとに柔軟に対応するのが良い。
- 金利水準が低いという問題があるので連絡窓口に挙げた案件は、沖縄公庫と民間金融機関のみならず沖縄振興局にも報告したい。
- 短期運転資金であれば系統金融機関を利用するようにしてもらいたい。